

1.1. 調査のまとめ

(1) 生涯学習に対するイメージ

生涯学習に対するイメージとしては、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」をあげた人の率が、60.9%でもっとも高く、次いで「趣味・教養を高めること（58.6%）」、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと（49.8%）」の順となっていた。

また属性別にみた時、イメージとしてあげた人の率が60.0%を超えていたのは、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」における「女性」と「成人中・後期」の人、「趣味・教養を高めること」における「女性」と「成人後期」の人、「高齢者の生きがいを充実すること」における「成人後期」の人であった。

生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事	「女性」「成人中・後期」
趣味・教養を高めること	「女性」「成人後期」
高齢者の生きがいを充実すること	「成人後期」

(2) 生涯学習の実態とニーズ

1) 生涯学習の実態

①過去1年間の生涯学習経験

過去1年間の生涯学習経験をみると、生涯学習を「よくした」と回答した人の率は15.7%、「時々した」人の率を合わせると、42.6%の人が生涯学習を「した」と回答していた。

属性別にみると、生涯学習を「した」と回答した人の率は、「成人後期」の人で高くなっていた。

②生涯学習の内容

生涯学習の内容としては、「趣味的なもの」をあげた人の率が59.6%でもっとも高く、次いで「健康づくり（41.0%）」、「教養的なもの（40.4%）」の順となっていた。

属性別にみると、「職業的なもの」では「成人前期」の人の、「健康づくり」では「成人後期」の人の、「家庭生活」では「女性」と「成人前期」の人の、「趣味的なもの」では「女性」と「成人後期」の人の、「教養的なもの」と「社会的なもの」では「男性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

職業的なもの	「成人前期」
健康づくり	「成人後期」
家庭生活	「女性」「成人前期」
趣味的なもの	「女性」「成人後期」
教養的なもの	「男性」「成人後期」
社会的なもの	「男性」「成人後期」

③生涯学習の場所・形態

生涯学習の場所・形態としては、「自宅での学習活動（書籍など）」をあげた人の率が37.2%でもっとも高く、次いで「図書館、博物館、美術館、コンサートホール（35.2%）」、「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動（34.0%）」の順となっていた。

属性別にみると、「職場の教育、研修」では「成人前期」の人の、「公民館などにおける都道府県や

市町村などの自治体の講座や教室」と「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動」では「成人後期」の人の、「自宅での学習活動（書籍など）」では「男性」の、「パソコンやインターネットなど」では「男性」と「成人中期」の人の、「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」では「男性」と「成人中・後期」の人の、「ラジオ、テレビ」では「男性」と「成人後期」の人の、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育」では「女性」と「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

職場の教育、研修	「成人前期」
公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室	「成人後期」
同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動	「成人後期」
自宅での学習活動（書籍など）	「男性」
パソコンやインターネットなど	「男性」「成人中期」
図書館、博物館、美術館、コンサートホール	「男性」「成人中・後期」
ラジオ、テレビ	「男性」「成人後期」
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育	「女性」「成人中・後期」

④生涯学習をしなかった理由

生涯学習をしなかった理由としては、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率が、54.1%でもっとも高く、次いで「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから（28.2%）」、「学習のための費用がかかるから（20.5%）」の順となっていた。

属性別にみると、「いっしょに参加する仲間がいないから」と「身近なところに施設や場所がないから」では「成人後期」の人の、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」では「成人前・中期」の人の、「学習のための費用がかかるから」と「講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから」では「女性」と「成人前・中期」の人の、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」では「男性」と「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

いっしょに参加する仲間がいないから	「成人後期」
身近なところに施設や場所がないから	「成人後期」
仕事や家事が忙しくて時間がとれないから	「成人中・後期」
学習のための費用がかかるから	「女性」「成人前・中期」
講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから	「女性」「成人前・中期」
学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから	「男性」「成人前・中期」

2) 生涯学習のニーズ

①生涯学習のニーズ

生涯学習を「ぜひしたい」と回答した人の率は28.0%、「できればしたい」人の率を合わせると、80.6%の人が生涯学習を「したい」と回答していた。過去1年の間に生涯学習を「した」人の率が42.6%であることを考えると、生涯学習のニーズは非常に高い。

属性別にみると、生涯学習を「したい」と回答した人の率は、「女性」と「成人前・中期」の人で高くなっていた。

②生涯学習内容のニーズ

生涯学習内容のニーズとしては、「趣味的なもの」をあげた人の率が67.0%でもっとも高く、次いで「健康づくり(64.6%)」、「教養的なもの(51.6%)」の順となっていた。

属性別にみると、「職業的なもの」と「家族生活」では「成人前期」の人の、「趣味的なもの」では「女性」と「成人前・中期」の人の、「健康づくり」では「女性」と「成人後期」の人の、「社会的なもの」では「男性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

職業的なもの	「成人前期」
家族生活	「成人前期」
趣味的なもの	「女性」「成人前・中期」
健康づくり	「女性」「成人後期」
社会的なもの	「男性」「成人後期」

③生涯学習機会のニーズ

生涯学習機会のニーズとしては、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」をあげた人の率が55.8%でもっとも高く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間(NPOを含む)の講座や教室(32.9%)」、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会(30.7%)」の順となっていた。

属性別にみると、「職場での教育・研修」では「成人前期」の人の、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」と「博物館や美術館などの講座や教室」では「成人中期」の人の、「ボランティア活動の機会」では「成人後期」の人の、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」では「男性」の、「パソコン、インターネットを活用した学習機会」では「男性」と「成人前・中期」の人の、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間(NPOを含む)の講座や教室」では「女性」と「成人前・中期」の人の、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」では「女性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

職場での教育・研修	「成人前期」
大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど	「成人中期」
博物館や美術館などの講座や教室	「成人中期」
ボランティア活動の機会	「成人後期」
自然体験や生活体験などの体験活動の機会	「男性」
パソコン、インターネットを活用した学習機会	「男性」「成人前・中期」
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間(NPOを含む)の講座や教室	「女性」「成人前・中期」
公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室	「女性」「成人後期」

(3) 生涯学習情報の入手の実態とニーズ

1) 生涯学習情報の入手の実態

①生涯学習情報の入手経験

生涯学習情報を「十分に得ている」と回答した人の率は1.0%、「ある程度得ている」人の率を合わせると、26.5%の人が生涯学習を「得ている」と回答していた。

属性別にみると、生涯学習情報を「得ている」と回答した人の率は、「成人後期」の人で高くなっていた。

②生涯学習情報の入手方法

生涯学習情報の入手方法としては、「市の広報・情報誌」をあげた人の率が 90.9%でもっとも高く、次いで「回覧板(46.6%)」、「新聞(44.2%)」の順となっていた。

属性別にみると、「ちらし」では「成人前期」の人の、「掲示板・ポスター」では「成人前・中期」の人の、「テレビ・ラジオ」では「成人後期」の人の、「回覧板」では「女性」の、「市の広報・情報誌」と「口伝え・口コミ」では「女性」と「成人後期」の人の、「雑誌・情報誌」では「男性」と「成人前・後期」の人の、「新聞」では「男性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

ちらし	「成人前期」
掲示板・ポスター	「成人前・中期」
テレビ・ラジオ	「成人後期」
回覧板	「女性」
市の広報・情報誌	「女性」「成人後期」
口伝え・口コミ	「女性」「成人後期」
雑誌・情報誌	「男性」「成人前・後期」
新聞	「男性」「成人後期」

2) 生涯学習情報の入手のニーズ

①生涯学習情報の入手方法のニーズ

生涯学習情報の入手方法のニーズとしては、「市の広報・情報誌」をあげた人の率が 65.7%でもっとも高く、次いで「新聞(37.6%)」、「回覧板(31.9%)」の順となっていた。

属性別にみると、「ちらし」では「成人前期」の人の、「回覧板」では「女性」と「成人中期」の人の、「市の広報・情報誌」では「女性」と「成人中・後期」の人の、「インターネット」では「男性」と「成人前期」の人の、「新聞」では「男性」と「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

ちらし	「成人前期」
回覧板	「女性」「成人中期」
市の広報・情報誌	「女性」「成人中・後期」
インターネット	「男性」「成人前期」
新聞	「男性」「成人中・後期」

②日頃必要だと思う生涯学習情報

日頃必要だと思う情報としては、「講座や教室などの案内の情報」をあげた人の率が 65.0%でもっとも高く、次いで「学習のために利用できる施設についての情報(44.6%)」、「地域の学習グループやサークルについての情報(38.7%)」の順となっていた。

属性別にみると、「学習情報をどこで入手できるかについての情報」と「資格やその取り方についての情報」では「成人前期」の人の、「講座や教室などの案内の情報」では「女性」と「成人中期」の人の、「地域の学習グループやサークルについての情報」では「女性」と「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

学習情報をどこで入手できるかについての情報	「成人前期」
資格やその取り方についての情報	「成人前期」
講座や教室などの案内の情報	「女性」「成人中期」
地域の学習グループやサークルについての情報	「女性」「成人中・後期」

(4) 生涯学習成果の活用の実態とニーズ

1) 生涯学習成果の活用の実態

①生涯学習成果の活用経験

生涯学習成果を「十分生かしている」と回答した人の率は5.6%、「ある程度生かしている」人の率を合わせると、40.6%の人が生涯学習成果を「生かしている」と回答していた。

属性別にみると、生涯学習成果を「生かしている」と回答した人の率は、「成人後期」の人の率が高くなっていた。

②生涯学習成果の活用内容

生涯学習成果の活用内容としては、「自分の人生の充実にむけて生かしている」をあげた人の率が76.3%でもっとも高く、次いで「家庭生活や日常の生活に生かしている(46.4%)」、「自分の健康の維持・増進に役立っている(41.0%)」の順となっていた。

属性別にみると、「仕事や就職・転職の上で生かしている」では「成人前期」の人の、「ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている」と「自分の健康の維持・増進に役立っている」では「成人後期」の人の、「自分の人生の充実にむけて生かしている」では「女性」と「成人後期」の人の、「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」では「男性」と「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

仕事や就職・転職の上で生かしている	「成人前期」
ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている	「成人後期」
自分の健康の維持・増進に役立っている	「成人後期」
自分の人生の充実にむけて生かしている	「女性」「成人後期」
さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている	「男性」「成人前・中期」

2) 生涯学習成果の活用のニーズ

①生涯学習成果の活用のニーズ

生涯学習成果を「ぜひ生かしたい」と回答した人の率は19.8%、「できれば生かしたい」人の率を合わせると、84.6%の人が生涯学習成果を「生かしたい」と回答していた。実際に生かしている人の率が40.6%であることを考えると、生涯学習成果の活用のニーズは非常に高い。

属性別にみると、生涯学習成果を「生かしたい」と回答した人の率は、「女性」と「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

②生涯学習成果の活用内容のニーズ

生涯学習成果の活用内容のニーズとしては、「自分の人生の充実にむけて生かしたい」をあげた人の率が79.6%でもっとも高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立たい(50.7%)」、「家

庭生活や日常の生活に生かしている（46.3%）」の順となっていた。

属性別にみると、「仕事や就職・転職の上で生かしたい」、「子育てや教育に生かしたい」、「さらに高度な専門的知識・技能を身につけたい」では「成人前期」の人の、「ボランティアや NPO 活動など地域や社会のために生かしたい」と「自分の健康の維持・増進に役立てたい」では「成人後期」の人の、「家庭生活や日常の生活に生かしたい」では「女性」の率が高くなっていた。

仕事や就職・転職の上で生かしたい	「成人前期」
子育てや教育に生かしたい	「成人前期」
さらに高度な専門的知識・技能を身につけたい	「成人前期」
ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしたい	「成人後期」
自分の健康の維持・増進に役立てたい	「成人後期」
家庭生活や日常の生活に生かしたい	「女性」

(5) ボランティア活動の実態

1) ボランティア活動経験

ボランティア活動を「現在している」と回答した人の率は 13.5%、「現在はしていないが、以前したことがある」人の率は 23.8%であった。

属性別にみると、ボランティア活動経験者の率は、「男性」と「成人後期」の人で高くなっていた。

2) ボランティア活動をしない理由

ボランティア活動をしない理由としては「仕事が忙しいから」をあげた人の率が 38.3%でもっとも高く、次いで「趣味や他にやりたい活動があり時間がないから（25.9%）」、「情報が不足しているから（25.1%）」の順となっていた。

属性別にみると、「趣味や他にやりたい活動があり時間がないから」と「情報が不足しているから」では「成人前期」の人の、「仕事が忙しから」では「成人中期」の人の、「活動に要する技術や知識を持っていないから」では「女性」と「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

趣味や他にやりたい活動があり時間がないから	「成人前期」
情報が不足しているから	「成人前期」
仕事が忙しいから	「成人中期」
活動に要する技術や知識を持っていないから	「女性」「成人中・後期」

(6) 公民館での活動の実態とニーズ

1) 公民館の認知率

回答者が、自分が居住している地域に公民館があることを知っているのかどうかをみた結果、「知っている」と回答した人の率は、82.4%であった。

属性別にみると、公民館の認知率は、「女性」と「成人中・後期」の人で高くなっていた。

2) 公民館利用の実態

①公民館の利用経験

公民館を「よく利用していた」と回答した人の率は8.7%、「たまに利用していた」人の率を合わせると、22.5%の人が公民館を「利用していた」と回答していた。

属性別にみると、「利用していた」と回答した人の率は、「成人後期」の人で高くなっていた。

②公民館利用の目的

公民館利用の目的としては、「自治会関係団体、スポーツ少年団やPTAなど団体の集会場所として利用した」と回答した人の率が42.0%でもっとも高く、次いで「趣味のグループやサークル活動の場として利用した(37.5%)」、「講座や教室などに参加した(35.2%)」の順となっていた。

属性別にみると、「自治会関係団体、スポーツ少年団やPTAなど団体の集会場所として利用した」では「成人中期」の人の、「講座や教室などに参加した」と「作品などを鑑賞した(映画・音楽会・演奏会・演劇・絵画・写真など)」では「成人後期」の人の、「公民館の行事(作品鑑賞以外)に参加した」と「趣味のグループやサークル活動の場として利用した」では「女性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

自治会関係団体、スポーツ少年団やPTAなど団体の集会場所として利用した	「成人中期」
講座や教室などに参加した	「成人後期」
作品などを鑑賞した(映画・音楽会・演奏会・演劇・絵画・写真など)	「成人後期」
公民館の行事(作品鑑賞以外)に参加した」と「趣味のグループやサークル活動の場として利用した	「女性」「成人後期」

③公民館での講座・教室への参加経験

公民館での講座・教室に「よく参加していた」と回答した人の率は15.1%、「たまに参加していた」人の率を合わせると、51.7%の人が公民館での講座・教室に「参加していた」と回答していた。

属性別にみると、「参加していた」と回答した人の率は、「成人後期」の人で高くなっていた。

④参加した講座・教室の内容

参加した公民館の講座・教室の内容としては、「健康づくり」をあげた人の率が50.0%でもっとも高く、次いで「趣味的なもの(44.7%)」、「教養的なもの(31.3%)」と「社会的なもの(31.3%)」の順となっていた。

属性別にみると、「家族生活」では「成人中期」の人の、「趣味的なもの」では「成人後期」の人の、「健康づくり」では「女性」の、「社会的なもの」では「男性」の、「教養的なもの」では「男性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

家族生活	「成人中期」
趣味的なもの	「成人後期」
健康づくり	「女性」
社会的なもの	「男性」
教養的なもの	「男性」「成人後期」

⑤講座・教室に参加しなかった理由

公民館での講座・教室に参加しなかった理由としては、「参加する時間がない、あるいは時間が合わない」をあげた人の率が53.3%でもっとも高く、次いで「自分の希望に合う講座や教室がない(38.9%)」、「公民館の講座や教室は、決まった人だけが参加していて入っていきにくいイメージがある(22.2%)」の順となっていた。

属性別にみると、「講座や教室の情報(内容・費用など)が得られない」では「成人前期」の人の、「自分の希望に合う講座や教室がない」では「男性」の、「公民館の講座や教室にそもそも興味・関心がない」では「男性」と「成人前期」の人の、「参加する時間がない、あるいは時間が合わない」と「公民館の講座や教室は、決まった人だけが参加していて入っていきにくいイメージがある」では「女性」と「成人中期」の人の率が高くなっていた。

講座や教室の情報(内容・費用など)が得られない	「成人前期」
自分の希望に合う講座や教室がない	「男性」
公民館の講座や教室にそもそも興味・関心がない	「男性」「成人前期」
参加する時間がない、あるいは時間が合わない	「女性」「成人中期」
公民館の講座や教室は、決まった人だけが参加していて入っていきにくいイメージがある	「女性」「成人中期」

(3) 公民館で今後開設してほしい講座・教室

今後、公民館で開設してほしい講座・教室としては、「健康づくり」をあげた人の率が50.2%でもっとも高く、次いで「趣味的なもの(49.5%)」、「教養的なもの(38.3%)」の順となっていた。

属性別にみると、「家庭生活」と「職業的なもの」では「成人前期」の人の、「趣味的なもの」では「女性」と「成人前・中期」の人の、「健康づくり」では「女性」と「成人中期」の人の、「教養的なもの」では「男性」と「成人中期」の人の、「社会的なもの」では「男性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

家庭生活	「成人前期」
職業的なもの	「成人前期」
趣味的なもの	「女性」「成人前・中期」
健康づくり	「女性」「成人中期」
教養的なもの	「男性」「成人中期」
社会的なもの	「男性」「成人後期」

(4) 地域課題の解決やまちづくりと公民館

1) 公民館の地域課題の解決やまちづくりへの取り組みに対する評価

地域課題の解決やまちづくりにおいて、公民館が「非常に重要な役割を果たしている」と回答した人の率は9.0%、「重要な役割を果たしている」人の率を合わせると、63.2%の人が、公民館の地域課題の解決やまちづくりに対する取り組みを評価していた。

属性別にみると、評価している人の率は、「女性」と「成人後期」の人で高くなっていた。

2) 地域課題の解決やまちづくりへの取り組みに対する評価の視点

公民館の地域課題の解決やまちづくりへの取り組みについて、どういう点を評価しているのかをみると、「市民の地域課題の解決やまちづくり活動の中心となっている」をあげた人の率が56.9%でもっとも高く、次いで「地域課題の解決やまちづくりのための学習の機会を積極的に提供している(47.6%)」となっていた。

属性別にみると、「市民の地域課題の解決やまちづくり活動の中心となっている」では「成人前期」の人の、「地域課題の解決やまちづくりのための学習の機会を積極的に提供している」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

(7) 生涯学習の評価

1) 生涯学習成果の評価に対する考え

「何らかの形で、世の中で評価されることが望ましい」と回答した人の率は、33.7%、「一定水準以上のものが、世の中で評価されると良い」と回答した人の率を合わせると、65.2%の人が、世の中の評価を望んでいた。

属性別にみると、世の中の評価を望んでいる人の率は、「女性」と「成人前期」の人で高くなっていた。

2) 生涯学習成果の世の中での評価のされ方

生涯学習成果の世の中での評価のされ方としては、「学習成果を活用する機会を増やす」をあげた人の率が43.1%でもっとも高く、次いで「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする(36.6%)」、「公的な資格の取得にあたって評価される(31.0%)」の順となっていた。

属性別にみると、「企業や官公庁など職場で評価される」、「公的な資格の取得にあたって評価される」、「学習活動を証明してもらう」では「成人前期」の人の、「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする」では「成人前・中期」の人の、「学習成果を活用する機会を増やす」では「女性」と「成人後期」の人の率が高くなっていた。

企業や官公庁など職場で評価される	「成人前期」
公的な資格の取得にあたって評価される	「成人前期」
学習活動を証明してもらう	「成人前期」
学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする	「成人前・中期」
学習成果を活用する機会を増やす	「女性」「成人後期」

3) 世の中での評価を望む理由

世の中での評価を望む理由としては、「学習の励みになるから」をあげた人の率が59.8%でもっとも高く、次いで「学習成果の活用がしやすくなるから(31.0%)」、「学習成果をきちんと確認したいから(30.5%)」の順となっていた。

属性別にみると、「就職の際に役立つから」では「成人前期」の人の、「学習成果の活用がしやすくなるから」では「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

(8) 生涯学習の振興方策

今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、大津市はどのようなことに力を入れるべきだと思っているのかをみると、「生涯学習に関する情報を得やすくする」をあげた人の率が59.8%でもっとも高く、次いで「生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実する(52.5%)」、「住民のニーズや満足度などをしっかり理解し、学習サービスに反映していく(29.1%)」の順となっていた。

属性別にみると、「子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていく」、「住民のニーズや満足度などをしっかり理解し、学習サービスに反映していく」、「生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進する」、「企業などの労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させる」では「成人前期」の人の、「生涯学習に関する情報を得やすくする」では「女性」と「成人前・中期」の人の、「生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実する」では「女性」と「成人中期」の人の率が高くなっていた。

子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていく	「成人前期」
住民のニーズや満足度などをしっかり理解し、学習サービスに反映していく	「成人前期」
生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進する	「成人前期」
企業などの労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させる	「成人前期」
生涯学習に関する情報を得やすくする	「女性」 「成人前・中期」
生涯学習関連施設などにおけるサービスを充実する	「女性」 「成人中期」